

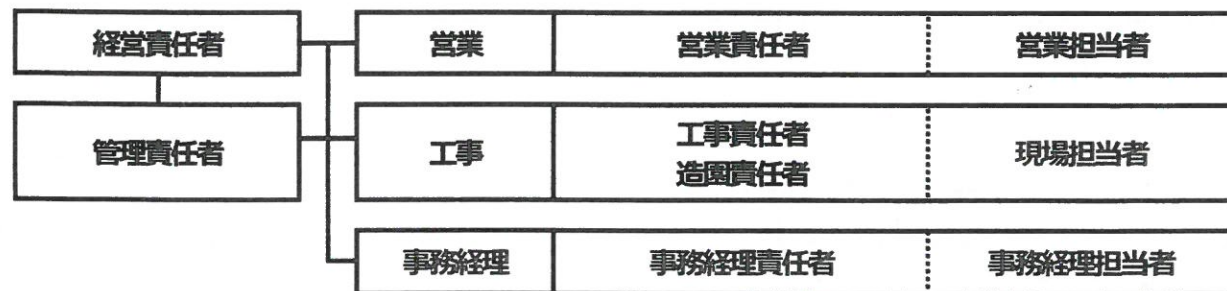


活動の目的：経営責任者は、QMSの実施方針を策定し、顧客・利害関係者・組織の管理下で働く人々に示す。

活動の責任者：経営責任者

#### ◇1. 組織構成

『経営責任者』は、QMSの実行のために以下の組織を定め、『品質マニュアル』において明確にし、維持し、組織の管理下に属する要員全てに対して、伝達し、理解させる。



#### ◇2. QMS及びそのプロセスの責任及び権限の割り当て

『経営責任者』は、QMS及びそのプロセスを実行するために、本マニュアルの各箇条に「活動の責任者」として明確にし、責任及び権限を割り当てる。（「※注記(9)」参照）

#### ◇3. 管理責任者の責任及び権限

『経営責任者』は、QMSの有効性維持のために『管理責任者』を任命し、以下の活動に対して、責任及び権限を割り当てる。

- 規格要求事項への適合**：QMSを、ISO9001:2015規格要求事項に適合させるために、外部認証審査及び内部監査の情報に基づいて、マネジメントレビュー実施前、または、ISO9001:2015規格要求事項に変更があった場合に、適合性をレビューする。
- プロセスアプローチの推進・経営責任者への報告**
  - プロセスが、『期待する結果』のアウトプットを達成するために、プロセスアプローチの概念に基づいた『品質マニュアル』を策定する。
  - 『QMSの能力』（「※注記(9)」参照）を監視する。（「9.1監視・測定・分析・評価」参照）
  - 『期待される結果』（「※注記(6)」参照）のアウトプットが達成出来ない場合は、『QMSの能力』の改善の機会を、『MS推進会議』の場を通して『経営責任者』に報告する。（「9.3マネジメントレビュー」参照）
- 顧客重視の促進**：組織の管理下で働く全ての要員に対して、顧客重視を認識させ、促進する。（「5.1.2顧客重視」参照）
- QMSの変更**：規格要求事項への適合のため、また、QMSの能力の改善のために、QMSを変更し、実施する場合は、QMSが完全に整っている状態を維持する。



## 経営理念

企業活動を通して、  
幸せを共有する企業を目指す

## 品質方針

石井造園株式会社は、企業の社会的責任に基づいて、当社の造園技術を最大限に発揮、駆使し、顧客及び利害関係者のニーズと期待を、全業務の結果の上に実現し、顧客及び利害関係者の満足を獲得する。

27-746911

上記のことを実現するために、石井造園株式会社は、下記の事柄を誠実に実行する。


- 品質目標の設定、実行、評価、及び、顧客及び利害関係者からのフィードバックを通して、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。
- 品質マネジメントシステムの適切な遂行及び改善、及び、顧客及び利害関係者のニーズと期待を満たした仕事を実現するために必要な経営資源を確保する。
- 各要員は、その責任を誠実に遂行し、幸せな未来に向けて日々努力をする。

2017年7月8日

石井造園株式会社

経営責任者 石井 直樹



記録-03：品質目標管理票	<b>目標策定のポイント：</b> 組織のニーズを実現するための目標を設定する。 ◇顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした製品及びサービスを一貫して提供するため。 ◇顧客満足度を向上させる機会を増やすため。 ◇組織の状況及び目標に関連したリスク及び機会に取り組むため。 上記を実現するために、組織のQMSのパフォーマンスを評価・分析し、顧客満足度の向上に繋がる事柄等の改善を必要とする組織のQMS上及び技術上のテーマを明確にする。	承認	作成 レビュー	
		作成日		

識別番号	目標のニーズ (※目標を策定した組織のニーズ)	品質目標	責任部門	目標達成のための活動計画	目標達成のための活動評価	
			目標値状態			
			目標達成時期			
品質 目標 ①	顧客・利害関係者からのフィードバックをえる為	QMSの有効性を理解し全ての利害関係者からの声を反映する為に顧客アンケート100%発行と回収を目指す。	現場・営業責任者	85%	現場担当者は、アンケートの主旨を説明して協力を求めてから作業に着手する。又、営業責任者は、管理責任者承認の現場を把握し顧客アンケートの実施回収状況を確認を行う。	
			通年			
品質 目標 ②	顧客・利害関係者のニーズに合わせ期待される企業になる。	適切な資材・人材を確保し期待にお応え出来るようにする。QMSの有効利用と日々新しい情報を収集し、活動成果を発信します。	管理・営業責任者	85%	優良な資材提供者の選定、新人、及び採用者の育成とHP更新と情報収集を行う。HPの発信は、3人以上入力できるようにする。	
			通年			
品質 目標 ③	要員が幸せを実感できることが、顧客・利害関係者の幸せへとつながる。	個が輝くことが企業の成長につながる、実現する為に、研修、講習、講演へ積極的に参加する。	各担当者	85%	各担当者は、受講の希望を管理責任者に提出承認を受ける。講習、講演などは、情報提供を受けもしくは、自発的に参加希望を募る。基本1人当たり3回以上を目指す。その際レポートの提出を行う。	
			通年			